

島根大学
教育実践研究

第 8 号

1997

島根大学教育学部
附属教育実践研究指導センター

目 次

| | | |
|--|--|-----|
| 授業における評価言の役割と教育的効果(1) － 斎藤喜博の場合 － | 山下 政 俊 広 山 隆 行 | 1 |
| 中国の障害児教育(1) － 北京市における行政組織と機能 － | 西 信 高 胡 勇 | 15 |
| 昭和23年「新制中学」発足当時の国語教育の実際 － 広瀬町立広瀬中学校の場合 － | 田 中 瑩 一 菅 本 至 洋 | 21 |
| 島根県国語教育実践史料目録と解説 | 田 中 瑩 一 池 淵 昌 志 小 林 富 美 子 河 原 靖 子 昌 子 佳 広 菅 本 至 洋 | 45 |
| 小学校における環境教育（Ⅰ） －「水」に関する予備調査から－ | 曾我部 國 久 池 田 綾 子 在 間 恭 子 高 橋 泰 道 坂 本 一 光 | 77 |
| 花崗岩地帯における大地学習 － 小学校6年「大地のつくり」学習の場合 － | 少 林 浩 道 秦 明 徳 | 89 |
| 中学校家庭科における家族教育の授業実践 － 家庭内における性別役割分業を考える － | 多々納 道 子 三 島 香 子 | 107 |
| バイオメカニクスを応用した身体動作の学習と 指導方法に関する一研究 | 植 野 淳 一 | 121 |
| 複式学級における教育活動に関する研究（Ⅰ） － 複式学級における教科学習指導形態についての 実態調査・結果報告と分析 － | 昌 子 佳 広 赤 木 直 行 山 崎 敦 史 和 泉 浩 行 | 133 |
| 日本の文学教育の現状と課題 (第20回韓国語文教育学会・講演) | 足 立 悦 男 (千斗鉉・訳) | 153 |
| 算数科教科書における助数詞について － 明治前期(四)・明治中期(一) － | 三 保 忠 夫 | 1 |

編 集 後 記

島根大学教育学部附属教育実践研究指導センターの『教育実践研究』第8号をお届けします。ご覧のように本号には共同研究7編を含む教育学部教官の研究論文10編に加えて、附属学校から1編の論文をご投稿いただきました。8号はこれまでの紀要の中で最も分厚いものになりました。ご執筆いただきました先生方には、心から御礼申し上げます。

教育学部を取り巻く環境や条件の悪化の中で教育実践研究センターは、いかにあるべきなのか、学部改革の柔軟な対応組織として再編すべきなのかどうか早急に検討しなければなりません。にわかにか起こってきた学生の入学定員減に対応した新たな学部の組織のあり方、研究・教育のあり方を理解できるパースペクティブが求められています。そのようなことが期待される状況の中でセンターは、新たな視点と行動を必要とされることでしょう。先生方には、その点も考慮に入れた研究成果を本研究紀要にご発表いただきますようお願いいたします。

(センター長 山下政俊)

平成8年度教育学部附属教育実践研究指導センター運営委員会委員

山下政俊(センター長・委員長)
権藤誠剛(主任研究員)
秦明德(主任研究員)
森本直人(主任研究員)
大西俊江(主任研究員)
肥後功一(主任研究員)
足立悦男(運営委員会委員)
多々納道子(運営委員会委員)
築道明(運営委員会委員)
陶山弘志(運営委員会委員)
梶谷光弘(運営委員会委員)
野津道代(運営委員会委員)

BULLETIN OF
CENTER OF RESEARCH AND TRAINING FOR
EDUCATIONAL PRACTICE
SIMANE UNIVERSITY

No. 8

1997

FACULTY OF EDUCATION SIMANE UNIVERSITY
MATUE 690, JAPAN

島根大学教育実践研究 第8号

発行 1997年3月31日

発行者 島根大学教育学部
附属教育実践研究指導センター
〒690 松江市西川津町1060
TEL (0852) 32-6100

印刷 (有) 松陽印刷所
